成長企業の人材戦略 17

ー人材育成編ー

人が資産と言われる広告界。人材育成は、広告界に属する企業に共通する重要課題だ。社員のスキルを伸ばし、成長を続ける企業に人材育成の方針を聞く。

DENTSU DIGITAL

“AIを利用した広告制作でもクリエーティブスキルは重要”

電通デジタル

アドバンストクリエーティブセンター データ&ダイレクトクリエーティブ事業部
AIクリエーティブ開発グループ コピーライター　林 秀和氏

デジタル広告を主に扱う電通デジタルにおいて、アドバンストクリエーティブセンター（ACRC）はデジタルとクリエーティブの融合をミッションに掲げている。その中でも、AIクリエーティブ開発グループは、AIを用いたクリエーティブ制作を支援するソリューションを担当。具体的にはバナーの自動生成ツールなどを開発している。人間がつくったバナー広告の設計図をもとに、AIが広告原稿を生成、最後に人間が手直しをして出稿する。

同グループ所属の林氏は大学の専攻は理系で、リサーチ会社に勤務していた。その後、2017年に同社に入社。クリエーティブな仕事に携わりたいと考えていたが、実務ではコピーを書いたことがなかったという。そこで入社後はデータ部門に在籍しながらコピーライター養成講座に通い、基礎コースから上級コースまで受講した。その努力が功を奏し、2018年から現在の部署に異動。デジタルテクノロジーにも精通する経験を生かしながらコピーライターとして業務を行っている。

林氏は、業務の中で求められるスキルについて「コピーライティングなどのクリエーティブ力からプログラミングに関する知識など、多岐にわたります」と話し、講座での学びが役に立っていると語った。「上級コースを受講しての学びは、多様な切り口のコピーを書けるようになったことと、自分が書いたものからコピーを選べるようになったことです。業務では、AIが生成した広告の手直しや画像の選定、さらに言葉を扱う業務全般に役立っていて、以前よりも簡潔に伝える資料をつくれるようになりました」（林氏）。

林氏は今後、「AIと真に協働できるクリエーターになりたいと考えています。講座で学んだスキルに加え、発想支援としてAIを活用して、より『人』が動くクリエーティブを追求していきたいです」と語った。

「ADVANCED CREATIVE MAKER」が生成した、宣伝会議「コピーライター養成講座」のバナー広告案4種類。

より新しい表現を磨くために、電通デジタルの林さんが受講した講座は、
「コピーライター養成講座上級コース」でした。

あらゆる状況下で、プロとして通用するコピーを書く、そのために商品とターゲット双方へ深く洞察できる力を、毎回の課題と一人ひとり密度の濃い講評を通じて養っていきます。基礎コースの修了生、未経験からの転職を目指す方、コピーライター歴1〜5年目で環境としてしっかりと教わった経験のない方には特にお勧めの講座です。

＜講座概要＞

講義日程：2019年6月開催予定　　講義会場：東京・南青山
受講定員：30名
詳細URL：https://www.sendenkaigi.com/class/detail/copywriter_j.php

お問い合わせ先はこちら／**株式会社宣伝会議　教育講座本部**　E-mail. info-educ@sendenkaigi.co.jp
TEL. 03-3475-3030　FAX. 03-3475-3033　＜受付時間 9:00−18:00（土・日・祝除く／FAXは24時間受付）＞